

Title	大阪大学低温センターだより No.46 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 46
Issue Date	1984-04
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21204
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

— 編 集 後 記 —

日本大学理工学部教授の安河内昂先生が4月15日亡くなられた。

先生の御活躍は応用超電導の分野だけでなく、低温工学全般にわたっていた。小生は昭和50年に科学技術庁計画局の行った「極限科学技術領域における研究開発」検討会の委員として委員長である先生と親しく接する機会を得た。このとき低温工学の分野でまだ何の実績も持っていなかった若輩の小生を一人前として扱っていただいた。そのおかげでその後事ある毎に低温工学の各種の会合にまるで阪大工学部を代表するような立場で出席する榮譽を得た。日本原子力研究所の核融合用超電導マグネットの開発という大きな課題をこなされながら、他方で小生の研究費まで心配していただくような細かいことに気付く方であった。先生のスケールの大きさについては多く語られているので言うまでもないことであろう。

先生が阪大低温センターの活動の一つとして評価されていたこのセンターだよりの編集後記を借りて、学内の皆様に慎しんで訃報をお知らせします。

合 掌

(山本純也)

低温センター運営委員交代

工学部犬石教授、基礎工学部成田教授の停年退官に伴う後任として次の方々が低温センター運営委員に選出された。

藤井克彦（工学部教授）

山田安定（基礎工学部教授）

低温センターだより編集委員交代

工学部電気工学科井上正崇氏の大阪工業大学教授への転出に伴い新たに同電気工学科の金藤敬一氏（電話 内線 4569）が後任の委員になった。

おことわり

14ページから18ページの寒剤供給データの表・グラフは印刷時間短縮のため低温センターのワープロ、グラフプロッターを使用しました。そのため鮮明度に劣りますが御了解下さい。

大阪大学低温センターだより 第46号

昭和59年4月発行

編集責任者 長谷田泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話(06) 877-5111 内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話(06) 844-1151 内線 2162

印刷所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話(06) 443-0936 (代表)

目 次

No. 46

巻 頭 言

低温センター吹田分室の思い出 犬石嘉雄 1

研究ノート

氷X相の存在 理 学 部 菅 宏 3

ロボットは学習できるか 基礎工学部 有本 卓 6

セラミックスと金属の接合 産業科学研究所 菅沼克昭 10

昭和 58 年度寒剤供給状況 14

表 紙 : 代表的な多関節型ロボット

(本文 6 ページ)